



TOHOKU MEDICAL AND
PHARMACEUTICAL
UNIVERSITY

令和8年度 学生募集要項

薬学部

薬 学 科 6年制

生命薬科学科 4年制

学校推薦型選抜（公募制）

一般選抜（前期／後期）

大学入学共通テスト利用選抜（前期／後期）

※学校推薦型選抜（指定校制）の募集要項は別冊子となります。

東北医科薬科大学

目 次

教育研究目的およびアドミッション・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー	1
令和8年度入学者選抜募集概要	3
学校推薦型選抜（公募制）	4
一般選抜（前期／後期） ※地域支援制度について	7
大学入学共通テスト利用選抜（前期／後期）	11
出願資格 個別の入学資格審査	15
注意事項（出願上の注意・受験上の注意・不正行為）	16
令和8年度入学生納付金・諸会費等	18
各種奨学金など（地域支援制度）	20
インターネット出願の流れ	21
試験場	22

●試験に関する連絡●

試験に関する連絡や、今後募集要項の内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ（下記 URL または右記 QR コード）等にてお知らせいたしますので、確認してください。

本学ホームページ トップページ>入試情報
<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/>



●個人情報の取扱について

東北医科薬科大学では、個人情報の保護に関する法律を厳守し個人情報の適切な取り扱いと最善の管理対策を講じるよう努めております。資料請求や出願等にあたってご提出いただいた個人情報は、入学者選抜実施に関する業務および調査・研究等の資料としてのみ利用します。

なお、資料請求や出願により提出された時点で、個人情報の取り扱いについて承諾・同意したものとします。

●入試過去問題活用宣言について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、入学試験問題について本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。

●教育研究目的およびアドミッション・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

薬 学 科 6 年 制

薬学部薬学科においては、医療人としての心豊かな人間性と倫理観を持ち、先進的な薬物療法を探究するとともに疾病の予防・治療及び健康増進に積極的に参画する意識と実践力を備え、地域医療に貢献できる薬剤師の養成を主たる教育研究目的とする。そのために次のような人材を求めています。

1. 科学に興味を持ち、くすりに関する確かな知識を応用して、医療の現場で社会に貢献しようとする学生を求めています。
2. 医療の現場において薬剤師として必要とされる知識・技能や態度、さらには医療人としての倫理観などを身につけることができる学生を求めています。
3. 協調性を持ち、基本的なコミュニケーション力を身につけている学生を求めています。
4. 高等学校等の教育課程において学習した基礎的な知識・技能を修得し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、思考力・判断力・表現力などを身につけている学生を求めています。

上記の本学が求める学生について、基本的なコミュニケーション力、基礎的な知識及び技能、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、思考力・判断力・表現力などを身につけているかを確認するため、入学者選抜の基本方針に従い選抜を行います。入学者選抜では調査書により基本的なコミュニケーション力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価することに加え、選抜区分ごとに評価項目を変更し多様な人材を受け入れています。

※入学者選抜の基本方針については、各選抜ごとのページに記載しています

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

教育理念と教育研究上の目的に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位（学士（薬学））を授与します。

1. **医療人としての心構え**
医療人として豊かな教養と人間性を備え、常に相手を思い寄り添う姿勢を忘れず、地域に暮らす人たちの命と健康を守る使命感と責任感及び倫理観を身につけている。
2. **コミュニケーション能力**
患者とその家族、地域住民、医療・福祉関係者と良好なコミュニケーションをとり、相手の意見を尊重しつつ、その意思決定をサポートできる資質を備えている。
3. **地域社会への貢献**
医療人として地域で果たすべき役割を理解し、高齢化社会に対応した地域住民の疾病予防、健康増進及び福祉向上への取り組みに積極的に参画する能力を有している。
4. **科学的思考力**
医薬品、化学物質、病原体その他生体に作用する物質について探求・理解し、これらを活用して医療及び公衆衛生に関する様々な課題に対し自ら対応できる能力を有している。
5. **薬物療法における実践能力**
患者の病態に応じて有効かつ安全な総合的薬物療法を提供するために必要な専門的知識及び臨床的技能を身につけている。
6. **新たな情報・科学技術への対応**
次世代の医療を支える様々な情報・科学技術に関する知識を積極的に取り込み、倫理規範や法令を遵守し活用する姿勢・能力を有している。
7. **学び続ける姿勢**
科学・医療の進歩の恩恵を常に患者及び生活者に提供できるよう、生涯にわたって高い学習意欲を持ち、自己研鑽を続けることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を修得するために、以下のように教育課程を編成しています。

学修成果の評価は、アセスメント・ポリシーに従って行います。科目レベルでは筆記試験の他に各種課題の提出、発表、実演などを用いて評価（一部でルーブリックを使用）を行います。

1. **〈大学教育への導入を行う〉**
薬学科における学びへとスムーズに移行できるように入門科目を配置すると共に、入学早期から薬学の基礎知識を身につけるための基礎科目と演習科目を配置します。
2. **〈医療人としての倫理観を養う〉**
医療人を旨とする心構えと共に豊かな人間性を育むための教養科目、また医療人としての責任感と態度を醸成するために体験学習あるいはグループ討議等を取り入れた医療倫理関連科目を配置します。
3. **〈コミュニケーション能力を養う〉**
医療人に欠かせないコミュニケーション能力を醸成するために、調査学習、発表、ロールプレイ等を多く取り入れ、能動的に学習する科目を各学年に配置します。
4. **〈基礎的な科学の知識と技能を学ぶ〉**
医薬品を含む化学物質の性質及び生体のしくみ等を科学的に理解し、薬物や病原体の適切な取扱いができるよう、薬学に関する広範な知識と技能を修得するために必要な講義及び実習科目を配置します。
5. **〈薬物療法を学ぶ〉**
薬の情報提供を適切に行い、患者から得られる情報を基にその治療効果・副作用の発現等を判断するために必要な薬物治療における専門的な知識、及び医薬品情報の活用やフィジカルアセスメント等に必要となる技能・態度を修得するための講義及び実習科目を配置します。
6. **〈地域医療を学ぶ〉**
薬剤師の専門性を発揮し、多職種と連携して積極的にチーム医療に貢献できる人材を養成するために、他学部の学生と共に学ぶ科目を提供します。また、地域住民の疾病予防、健康増進と福祉向上のため、地域医療及び災害医療を学ぶ科目を配置します。
7. **〈臨床薬学を学ぶ〉**
2つの附属病院を含む医療現場で活躍している医師、薬剤師、その他の医療従事者から指導を受けることによる、臨床薬学を重視した実践的な学びを提供します。これには5年次における5カ月間の臨床実習も含まれます。
8. **〈先端的医療・科学技術を学ぶ〉**
医療人として活躍するために必要な先端的医療技術や ICT 関連技術等を理解し、法令・規範に従って適正に活用するための科目を配置します。
9. **〈自己研鑽能力を高める〉**
問題発見・解決能力及びリーダーとしての資質を培うために、問題基盤型学習、双方向教育、グループ討論・発表等、自ら主体的・能動的に取り組む科目を配し、自己研鑽を続ける意識と態度を涵養します。また、卒業研究の過程を通じて研究マインドを高め、生涯にわたり自身の能力開発に向き合う姿勢を育みます。

教育研究目的およびアドミッション・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

生命薬科学科

4年制

薬学部生命薬科学科においては、薬学・生命科学に携わる人としての心豊かな人間性と倫理観を持ち、医学と薬学の2つの領域にまたがる生命科学を探究するとともに高度の専門知識を修得し、健康に関する様々な分野で活躍する人材の養成を主たる教育研究目的としています。そのために次のような人材を求めています。

1. 科学に興味を持ち、最新の生命科学の専門知識を学び、新しい視点からくすりの問題に取り組もうとする探究心の強い学生を求めています。
2. くすりとヒトの関わりについて、生命科学を応用して、新たな問題に挑戦する意欲を持った学生を求めています。
3. 協調性を持ち、基本的なコミュニケーション力を身につけている学生を求めています。
4. 高等学校等の教育課程において学習した基礎的な知識・技能を修得し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、思考力・判断力・表現力などを身につけている学生を求めています。

上記の本学が求める学生について、基本的なコミュニケーション力、基礎的な知識及び技能、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、思考力・判断力・表現力などを身につけているかを確認するため、入学者選抜の基本方針に従い選抜を行います。入学者選抜では調査書により基本的なコミュニケーション力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価することに加え、選抜区分ごとに評価項目を変更し多様な人材を受け入れています。
※入学者選抜の基本方針については、各選抜ごとのページに記載しています

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学の教育理念に基づく教育課程を通じて、以下に示す薬学・生命科学分野の研究者や技術者として必要な知識・技能・態度を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位（学士（薬科学））を授与します。

1. **教養と倫理**
薬学・生命科学に携わる人としての豊かな教養と人間性を備え、生命の尊厳について深い認識をもち、社会で自身が果たす役割に対する使命感、責任感を身につけている。
2. **情報発信とコミュニケーション**
薬学・生命科学の研鑽を積んだ者として積極的に社会と関わりを持ち、幅広い分野で自ら情報収集・分析を行い、その成果を効果的に発信できる。
3. **生命科学領域の専門性**
医薬品とその関連物質の生体に対する作用を理解し、ゲノム創薬や生命科学の追求に不可欠である生化学、分子生物学、遺伝子工学等に関する専門的な知識と技能を身につけている。
4. **創薬を担う力**
創薬研究の基礎となる物理・分析化学、有機化学、衛生化学、免疫学、薬理学、薬剤学、薬物治療学等に関する専門的な知識と技能を身につけている。
5. **課題発見と解決**
「われら真理の扉をひらかむ」の建学の精神のもと、常に真理を探究する姿勢を忘れず、自ら課題を求め自分の力で解決できる。
6. **自己研鑽**
生涯に亘って科学・医療の進歩の恩恵を社会で暮らす人々に提供できるよう、高い学習意欲を持って自己研鑽を続けることができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

薬に関わる幅広い知識や先端的な生命科学を学び、将来、薬の開発やバイオテクノロジー等の研究分野、人々の健康や生活環境の向上など様々な分野で活躍できる多様な人材の養成を目指し、以下の教育課程を編成しています。
学修成果の評価はアセスメント・ポリシーに従い、科目レベルおよび学科・学年レベルで実施します。

1. **〈大学教育への接続〉** 初年次は履修履歴の異なる学生のために高等学校からの接続学習科目を配置し、さらに薬学基礎科目の理解と定着へと導くための演習科目を配置します。
科目の評価は筆記試験やレポート等を用いて行います。
2. **〈専門科目への導入〉** 生命薬科学を通して社会に貢献するという意識を持って学習を続けるよう、1年次から製薬会社等の施設見学、基礎の化学系および生物学系実習科目を提供します。
科目の評価はレポート、グループ討議のプロダクト、プレゼンテーション等を用いて行います。
3. **〈科学者としての倫理観〉** 低学年での教養教育や薬学・生命科学教育を通じて、生命の尊厳に関する高い意識と倫理観の醸成を図ります。また、低学年から能動的学習の機会を設け、研究者・技術者を目指して学ぶ自覚と責任感を獲得できるよう工夫した授業を提供します。
科目の評価はレポート、グループ討議のプロダクト、筆記試験等を用いて行います。形成的評価はルーブリックを用いて行います。
4. **〈生命科学・創薬化学の専門性〉** 医薬品とその関連物質の生体に対する作用を理解し、研究者・技術者として創薬研究を行う上で必要な専門的な知識・技能・態度を修得できる講義と実習科目を配置します。さらに学生自身が、自分の将来を見据え適切な選択が行えるよう、生命科学と創薬に関する多様な科目を提供します。
科目の評価は知識に関しては筆記試験やレポート、技能・態度に関してはレポート等を用いて行います。形成的評価はルーブリックを用い、総合的評価は卒業研究の成果発表と論文についてルーブリックを用いて行います。
5. **〈情報発信とコミュニケーション〉** 国内のみならず国際的にも社会の幅広い分野で活躍でき、薬学・生命科学の学習成果や研究成果を積極的に発信できる人材を養成するため各学年で専門領域の英文論文講読科目を提供します。
科目の評価は知識に関しては筆記試験やレポート、技能・態度に関してはレポート等を用いて行います。形成的評価はルーブリックを用いて行います。
6. **〈職業観の育成〉** 低学年から職業観の醸成を図るためのキャリア開発講座やキャリア支援講座を導入し、3年次では、企業での就業体験（インターンシップ）を実施します。これらの科目を通じ、大学で学んだ薬学・生命科学の学修成果を活かし、各自がどのように社会に貢献していくかを考える機会を提供します。
科目の評価はレポート、プレゼンテーション等を用いて行います。
7. **〈課題の発見と解決および自己研鑽〉** 演習や実習、さらに1年半にわたる卒業研究を通じ、課題を発見し、解決する能力の向上を図ります。これら一連の活動により、リーダーとしての自覚を促すと共に強い探求心の醸成を図り、生涯にわたって自己研鑽できる人材の養成を目指します。
形成的評価はルーブリックを用い、総合的評価は卒業研究の成果発表と論文についてルーブリックを用いて行います。

●令和8年度入学者選抜募集概要

1. 募集人員

学科	入学定員	募 集 人 員					
		学校推薦型選抜		一般選抜		大学入学共通テスト利用選抜	
		指定校制	公募制	前 期	後 期	前 期	後 期
薬 学 科 (6年制)	280名	50名	85名	105名	25名	10名	5名
生命薬科学科 (4年制)	30名	5名	5名	13名	4名	3名	若干名

※薬剤師国家試験を受験することができるのは、薬学科（6年制）の卒業者となります。

2. 入学者選抜日程等

試験区分	出願登録期間 【書類提出期限】	試験期日	合格発表日	入学手続期日	
				納付金納入	書類提出
学校推薦型選抜 (公募制)	令和7年10月22日(水)～ 令和7年11月4日(火)午後1時 【令和7年11月6日(木)必着】	令和7年 11月15日(土)	令和7年 12月1日(月)	令和7年 12月15日(月) 午後2時	令和7年 12月15日(月) 必着
一 般 選 抜 (前 期)	令和7年12月18日(木)～ 令和8年1月6日(火)午後1時 【令和8年1月8日(木)必着】	令和8年 1月24日(土)	令和8年 1月30日(金)	令和8年 2月12日(木) 午後2時	令和8年 3月6日(金) 必着
一 般 選 抜 (後 期)	令和8年1月27日(火)～ 令和8年2月9日(月)午後1時 【令和8年2月11日(水)必着】	令和8年 2月21日(土)	令和8年 2月27日(金)	令和8年 3月5日(木) 午後2時	
大学入学共通テスト 利用選抜（前期）	令和7年12月18日(木)～ 令和8年1月16日(金)午後1時 【令和8年1月18日(日)必着】	大学入学共通 テスト 令和8年 1月17日(土) 18日(日)	令和8年 2月13日(金)	令和8年 2月26日(木) 午後2時	令和8年 3月23日(月) 必着
大学入学共通テスト 利用選抜（後期）	令和8年2月17日(火)～ 令和8年3月2日(月)午後1時 【令和8年3月4日(水)必着】	※本学での 個別試験は 課さない	令和8年 3月11日(水)	令和8年 3月23日(月) 午後2時	

※出願はインターネット出願となります。

※出願については「インターネット出願の流れ (P.21)」をご確認ください。

※学校推薦型選抜（指定校制）の日程等については、該当する高等学校へ直接通知します。

※地域支援制度希望者を募集しています。

地域医療を支える薬剤師の養成を目的として、対象の学生に修学資金を貸与し、卒業後に指定された宮城県内または秋田県内の医療機関に薬剤師として一定期間従事することで、貸与金額の全額を返還免除とする制度です。一般選抜（前期）の薬学科受験者の中で本制度を希望する者には、面接を実施し採用者を決定します。詳しくはP.20をご参照ください。

●学校推薦型選抜（公募制）

入学者選抜の基本方針

高等学校の成績において所定の基準を満たす志願者を対象に、薬学・生命科学を学ぶために必要な基礎的な知識を評価するため、英語、理科の学科試験に加えて、基本的なコミュニケーション力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、判断力、表現力などを評価するため、調査書に加え面接試験を実施し入学者選抜を行います。

1. 募集人員

薬学科（6年制）	85名
生命薬科学科（4年制）	5名

2. 出願期間

試験区分	出願登録期間	出願書類提出期限
学校推薦型選抜 （公募制）	令和7年10月22日（水）午前10時～ 令和7年11月4日（火）午後1時まで	令和7年11月6日（木）必着

3. 出願資格（下記の1）～4）の条件をすべて満たしている者）

- 次の①か②のいずれかに該当する者
 - 令和7年3月高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
 - 令和8年3月高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者
- 高等学校3年次1学期または前期まで（既卒者については3年次修了時まで）の調査書の「全体の学習成績の状況」が3.3以上である者
- 本学への入学専願で、合格した場合は入学することを確約できる者
- 学校長の推薦を受けた者

4. 出願書類（P.16の注意事項を必ずご確認の上、出願ください）

- 志願票
インターネット出願サイトの「マイページ」から出願登録の入力が完了すると、ダウンロードすることができます。印刷し、収納証明書*を貼付してください。
※顔写真データ：正面、上半身無帽、背景無地で3ヶ月以内に撮影したカラー写真データ（JPEG形式・3MB以下）をアップロードしてください。あらかじめインターネット出願サイト内で顔写真登録に関する内容を確認の上、データファイルを準備してください。
試験当日の本人照合および入学後の学生証写真として使用します。学生証は本学を卒業するまで使用しますので私服で撮影された写真が望ましいです。
※収納証明書：コンビニエンスストアで入学検定料を支払い後、必ず受け取ってください。
- 調査書
出身学校長が出願3か月以内（既卒者の場合は令和7年4月1日以降）に作成し厳封したものを提出してください。
※調査書は得点化し合否判定および面接試験の際の参考資料として活用します。
- 推薦書
本学所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
※推薦書は面接試験の際の参考資料として活用します。
※推薦書（Wordファイル）は本学ホームページ（トップページ > 入試情報 > インターネット出願）からダウンロードしてください。
<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/internet-application/>

【その他】英語外部検定試験の成績証明書等（CEFR LEVEL もしくは4技能評価がわかるもの）の写し
※証明書は任意提出であり、合否判定には使用せず、入学後の教育の参考資料として活用します。

※出願書類は簡易書留・速達郵便で郵送してください。

※出願書類の郵送先宛名ラベル（宮城県）は、出願登録の入力完了後に印刷できます。

※出願書類に不備・不足等があった場合は、学務部入試・広報課（022-727からはじまる電話番号）から確認の連絡をすることがあります。

5. 入学検定料

入学検定料：35,000円

入学検定料は、出願登録の入力完了後に印刷した「納入手順書」を持参し、コンビニエンスストアでお支払いください。収納証明書を必ず受け取ってください。

**注意：「納入手順書」に記載されている期限までにお支払いください。
期限を過ぎるとお支払いができません。**

なお、最終の納入期限は、令和7年11月4日(火)午後5時までとなります。

6. 受験票

出願書類を受領した数日後、登録したメールアドレスへ受験票発行の通知メールが届き、「マイページ」から受験票を印刷できるようになります。記載内容を確認し、誤りがある場合はご連絡ください。

※受験票は大学から郵送されませんので、各自印刷して試験期日に持参してください。

※試験期日の5日前になっても「マイページ」から受験票をダウンロードできない場合はお問い合わせください。

【連絡・問い合わせ先】学務部入試・広報課 022-234-4181(代)

7. 選抜方法

1) 試験期日：令和7年11月15日(土) 午前9時10分までに集合(午前8時30分開場)

2) 試験場：仙台試験場(東北医科薬科大学 小松島キャンパス)

所在地：宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

3) 試験科目・時間：

試験時間	試験科目		配点
9:30~10:20 (50分)	理科	次のうちから1科目を選択 化学基礎・化学(高分子化合物、化学が果たす役割を除く)、 生物基礎・生物(生態と環境を除く)	200点
11:00~11:50 (50分)	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 論理・表現Ⅰ	100点
11:50~12:50	昼食(各自でご用意ください)		
13:00~	面接(面接+提出書類)		20点

※面接終了時刻は、最終で午後3時ごろを予定しています。

(面接を終了した受験者から適宜解散となります)

4) 合格者の決定：提出書類、学力検査、面接の結果により総合的に選考し、合格者を決定します。

※調査書は得点化し合否判定および面接試験の際の参考資料として活用、推薦書は面接試験の際の参考資料として活用します。

学校推薦型選抜(公募制)

8. 合格発表

令和7年12月1日(月)午後4時予定

- 1) 合否結果は、インターネット出願サイトの「マイページ」から確認してください。
※学内掲示による合格発表は行いません。
また、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。
- 2) 合格者には、合格通知書および入学手続要項を出願時に入力した保護者住所に速達郵便で送付します。
- 3) 合否結果について、高等学校等の学校長宛てに通知します。

9. 入学手続

- 1) 納付金
入学金、施設設備費、保険料を銀行振込により納付してください。
納付期限：令和7年12月15日(月)午後2時まで
- 2) 入学手続書類
提出期限：令和7年12月15日(月)必着
※入学手続書類については、合格者に送付される入学手続要項に従い提出してください。
- 3) 入学手続時に納入した入学金および提出書類は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、施設設備費および保険料に限り本学所定の様式により入学辞退の申し出を行った場合返還します。
なお、本学の学校推薦型選抜は専願制であり、合格の際には入学することを前提として募集しております。
- 4) 期日までに納付金の納付および入学手続書類の提出をすべて完了しない場合は、入学の意志がないものとして入学を許可いたしません。

10. 入学前教育の実施について

学校推薦型選抜合格者に対し基礎学力の向上と薬学に対する興味・向学意欲を高めることを目的として、下記の入学前教育を実施しています。詳細は入学手続要項でお知らせいたします。

- 1) 課題レポートの作成
- 2) 本学作成の練習問題の取り組み

●一般選抜（前期／後期）

入学者選抜の基本方針

【前期】

薬学・生命科学を学ぶために必要な基礎的な知識および論理的思考力を評価するため、調査書により基本的なコミュニケーション力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価することに加え、英語、数学、理科の学科試験を実施し入学者選抜を行います。

【後期】（数理選抜）

薬学・生命科学を学ぶために必要な基礎的な知識および論理的思考力を評価するため、調査書により基本的なコミュニケーション力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価することに加え、数学、理科の学科試験を実施し入学者選抜を行います。

1. 募集人員

	薬学科(6年制)	生命薬科学科(4年制)
前期	105名	13名
後期	25名	4名

2. 出願期間

試験区分	出願登録期間	出願書類提出期限
一般選抜（前期）	令和7年12月18日(木)午前10時～ 令和8年1月6日(火)午後1時まで	令和8年1月8日(木)必着
一般選抜（後期）	令和8年1月27日(火)午前10時～ 令和8年2月9日(月)午後1時まで	令和8年2月11日(水)必着

3. 出願資格（下記のいずれかに該当する者）

- 1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和8年3月修了見込みの者
- 3) 文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者
（詳細はP.15参照）

一般選抜(前期／後期)

4. 出願書類 (P.16の注意事項を必ずご確認の上、出願ください)

1) 志願票

インターネット出願サイトの「マイページ」から出願登録の入力が完了すると、ダウンロードすることができます。印刷し、収納証明書*を貼付してください。

※顔写真データ：正面、上半身無帽、背景無地で3ヶ月以内に撮影したカラー写真データ(JPEG形式・3MB以下)をアップロードしてください。あらかじめインターネット出願サイト内で顔写真登録に関する内容を確認の上、データファイルを準備してください。

試験当日の本人照合および入学後の学生証写真として使用します。学生証は本学を卒業するまで使用しますので私服で撮影された写真が望ましいです。

※収納証明書：コンビニエンスストアで入学検定料を支払い後、必ず受け取ってください。

2) 調査書

① 出身学校長が出願前3カ月以内(既卒者の場合は令和7年4月1日以降)に作成し、厳封したものを提出してください。

なお、卒業後5年が経過し出身学校より調査書が発行されない場合には、調査書の代わりに卒業証明書を提出してください。

② 高等学校卒業程度認定試験合格者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)は、調査書の代わりに合格証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格見込み者は、合格見込成績証明書を提出してください。

③ 出願資格3)に該当する者(詳細はP.15参照)は、提出する書類がそれぞれ異なるため事前に東北医科薬科大学 学務部入試・広報課までお問い合わせください。

【その他】英語外部検定試験の成績証明書等(CEFR LEVEL もしくは4技能評価がわかるもの)の写し

※証明書は任意提出であり、合否判定には使用せず、入学後の教育の参考資料として活用します。

※志願票や調査書等は、出願する試験区分ごとにそれぞれ提出が必要になります。

※出願書類は簡易書留・速達郵便で郵送してください。

※出願書類の郵送先宛名ラベル(東京多摩郵便局留)は、出願登録の入力完了後に印刷できます。

大学の住所とは異なりますのでご注意ください。

※出願書類に不備・不足等があった場合は、「東北医科薬科大学 入試受付係」(03-6738からはじまる電話番号)から確認の連絡をすることがあります。

5. 入学検定料

入学検定料：35,000円

入学検定料は、出願登録の入力完了後に印刷した「納入手順書」を持参し、コンビニエンスストアでお支払いください。収納証明書を必ず受け取ってください。

注意：「納入手順書」に記載されている期限までにお支払いください。

期限を過ぎるとお支払いができません。

なお、最終の納入期限は次のとおりです。

一般選抜(前期)：令和8年1月6日(火)午後5時まで

一般選抜(後期)：令和8年2月9日(月)午後5時まで

6. 受験票

出願書類を受領した数日後、登録したメールアドレスへ受験票発行の通知メールが届き、「マイページ」から受験票を印刷できるようになります。記載内容を確認し、誤りがある場合はご連絡ください。

※受験票は大学から郵送されませんので、各自印刷して試験期日に持参してください。

※試験期日の5日前になっても「マイページ」から受験票をダウンロードできない場合はお問い合わせください。

【連絡・問い合わせ先】学務部入試・広報課 022-234-4181(代)

7. 選抜方法

1) 試験期日:

一般選抜(前期): 令和8年1月24日(土) 午前9時までに集合(午前8時20分開場)

一般選抜(後期): 令和8年2月21日(土) 午前9時までに集合(午前8時20分開場)

2) 試験場:

仙台試験場	東北医科薬科大学(小松島キャンパス) 所在地:宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1
東京試験場	AP東京八重洲通り 所在地:東京都中央区京橋1-10-7
盛岡試験場	マリオス 所在地:岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1
郡山試験場 【前期のみ】	駿優予備学校郡山校 所在地:福島県郡山市駅前1-12-6
山形試験場 【前期のみ】	大手門パルズ 所在地:山形県山形市木の実町12-37
秋田試験場 【前期のみ】	アトリオン 所在地:秋田県秋田市中通2-3-8
青森試験場 【前期のみ】	東奥日報新町ビル New's 所在地:青森県青森市新町2丁目2-11
札幌試験場 【前期のみ】	ACU-A(アスティ45) 所在地:北海道札幌市中央区北4条西5丁目

※一般選抜(前期)において地域支援制度を希望した受験者はすべて、仙台試験場での受験となります

(別図参照P.22~25)

3) 試験科目・時間

【前期】

試験時間	試験科目		配点
9:30~10:40 (70分)	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列)	100点
11:40~12:50 (70分)	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 論理・表現Ⅰ	100点
12:50~14:00	昼 食 (各自でご用意ください)		
14:00~15:10 (70分)	理 科	次のうちから1科目を選択 「化学基礎・化学」または「生物基礎・生物」	200点

※地域支援制度を希望した受験者には、学力検査終了後に面接を実施

【後期】(数理選抜)

試験時間	試験科目		配点
9:30~10:40 (70分)	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列)	100点
11:20~12:30 (70分)	理 科	次のうちから1科目を選択 「化学基礎・化学」または「生物基礎・生物」	200点

4) 合格者の決定: 学力検査の結果により選考し、合格者を決定します。

※調査書またはそれに代わる資料(卒業証明書等)は、得点化して評価します。

一般選抜(前期／後期)

8. 合格発表

一般選抜(前期)：令和8年1月30日(金)午後4時予定

一般選抜(後期)：令和8年2月27日(金)午後4時予定

1) 合否結果は、インターネット出願サイトの「マイページ」から確認してください。

※学内掲示による合格発表は行いません。

また、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

2) 合格時にお知らせする案内に従って、合格通知書および入学手続要項、入学手続に必要な書類等を入手してください。

9. 入学手続

1) 納付金

入学金、施設設備費、保険料を銀行振込により納付してください。

納付期限

一般選抜(前期)：令和8年2月12日(木)午後2時まで

一般選抜(後期)：令和8年3月5日(木)午後2時まで

2) 入学手続書類

提出期限

一般選抜(前期) } 令和8年3月6日(金)必着

一般選抜(後期) }

※入学手続書類については、入学手続要項に従い提出してください。

3) 期日までに納付金の納付および入学手続書類の提出をすべて完了しない場合は、入学の意志がないものとして入学を許可いたしません。

10. 入学辞退について

入学手続時に提出された書類および入学金は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、施設設備費および保険料に限り下記提出期限までに、本学所定の様式により入学辞退の申し出を行った場合返還します。

「入学辞退届」の提出は簡易書留・速達郵便にて令和8年3月31日(火)午前中必着でお願いいたします。やむを得ず大学窓口へ提出する場合は、令和8年3月31日(火)午前9時から午前11時30分までの間のみ受付いたします。

※詳細については、入学手続要項をご覧ください。

◆地域支援制度について◆

地域医療を支える薬剤師の養成を目的として、対象の学生に修学資金を貸与し、卒業後に指定された宮城県内または秋田県内の医療機関に薬剤師として一定期間従事することで、貸与金額の全額を返還免除とする制度です。一般選抜(前期)の薬学科受験者の中で本制度を希望する者には、面接を実施し採用者を決定します。

1. 対象学科 薬学部薬学科

2. 募集人員 宮城県4名、秋田県2名

3. 出願資格 次の1)～2)の条件をすべて満たす者

1) 一般選抜(前期)を受験する者(本制度を希望する者の試験場は仙台試験場)

2) 卒業後、指定された宮城県内または秋田県内の医療機関で薬剤師業務に従事することを確約できる者(所定の様式で誓約書を提出)

4. 採用者決定について

期 日：令和8年1月24日(土) 一般選抜(前期)の試験終了後に面接を行います。

面 接 会 場：東北医科薬科大学 小松島キャンパス

採用者決定方法：一般選抜(前期)合格者の中から、調査書、面接などにより総合的に採用者を決定します。

発 表 日：令和8年1月30日(金)

欠員が生じた場合には、希望者のうち納付金納入者の中から繰上げ採用者として連絡いたします。その際には、学務部入試・広報課(022-727からはじまる電話番号)から電話連絡いたします。

※詳しくは、P.20をご参照ください。

●大学入学共通テスト利用選抜(前期／後期)

入学者選抜の基本方針

薬学・生命科学を学ぶために必要な基礎的な知識および論理的思考力を評価するため、調査書により基本的なコミュニケーション力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価することに加え、大学入学共通テストにおける英語、数学、理科の成績を利用し入学者選抜を行います。

1. 募集人員

	薬学科(6年制)	生命薬科学科(4年制)
前期	10名	3名
後期	5名	若干名

2. 出願期間

試験区分	出願登録期間	出願書類提出期限
大学入学共通テスト利用選抜(前期)	令和7年12月18日(木)午前10時～ 令和8年1月16日(金)午後1時まで	令和8年1月18日(日)必着
大学入学共通テスト利用選抜(後期)	令和8年2月17日(火)午前10時～ 令和8年3月2日(月)午後1時まで	令和8年3月4日(水)必着

3. 出願資格

下記のいずれかに該当し、大学入試センターが実施する令和8年度大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験する者

- 1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、または令和8年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和8年3月修了見込みの者
- 3) 文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者(詳細はP.15参照)

大学入学共通テスト利用選抜(前期／後期)

4. 出願書類 (P.16の注意事項を必ずご確認の上、出願ください)

1) 志願票

インターネット出願サイトの「マイページ」から出願登録の入力が完了すると、ダウンロードすることができます。印刷し、収納証明書*を貼付してください。

※顔写真データ：正面、上半身無帽、背景無地で3ヶ月以内に撮影したカラー写真データ(JPEG形式・3MB以下)をアップロードしてください。あらかじめインターネット出願サイト内で顔写真登録に関する内容を確認の上、データファイルを準備してください。

本人照合および入学後の学生証写真として使用します。学生証は本学を卒業するまで使用しますので私服で撮影された写真が望ましいです。

※収納証明書：コンビニエンスストアで入学検定料を支払い後、必ず受け取ってください。

2) 調査書

① 出身学校長が出願前3カ月以内(既卒者の場合は令和7年4月1日以降)に作成し、厳封したものを提出してください。

なお、卒業後5年が経過し出身学校より調査書が発行されない場合には、調査書の代わりに卒業証明書を提出してください。

② 高等学校卒業程度認定試験合格者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)は、調査書の代わりに合格証明書を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験合格見込み者は、合格見込成績証明書を提出してください。

③ 出願資格3)に該当する者(詳細はP.15参照)は、提出する書類がそれぞれ異なるため事前に東北医科薬科大学 学務部入試・広報課までお問い合わせください。

3) 成績請求票

大学入試センターから交付された令和8年度大学入学共通テスト成績請求票のうち「私立大学・公私立短期大学用」を志願票の所定欄に貼付してください。

【その他】英語外部検定試験の成績証明書等(CEFR LEVEL もしくは4技能評価がわかるもの)の写し

※証明書は任意提出であり、合否判定には使用せず、入学後の教育の参考資料として活用します。

※志願票や調査書、成績請求票等は、出願する試験区分ごとにそれぞれ提出が必要になります。

※出願書類は簡易書留・速達郵便で郵送してください。

※出願書類の郵送先宛名ラベル(試験区分によって異なります)は、出願登録の入力完了後に印刷できます。

大学入学共通テスト利用選抜(前期)：東京多摩郵便局留

// (後期)：宮城県

※出願書類に不備・不足等があった場合は、「東北医科薬科大学 入試受付係」(03-6738からはじまる電話番号)または「学務部入試・広報課」(022-727からはじまる電話番号)から確認の連絡をすることがあります。

5. 入学検定料

入学検定料：17,000円

入学検定料は、出願登録の入力完了後に印刷した「納入手順書」を持参し、コンビニエンスストアでお支払いください。収納証明書を必ず受け取ってください。

注意：「納入手順書」に記載されている期限までにお支払いください。

期限を過ぎるとお支払いができません。

なお、最終の納入期限は次のとおりです。

大学入学共通テスト利用選抜(前期)：令和8年1月16日(金)午後5時まで

// (後期)：令和8年3月2日(月)午後5時まで

大学入学共通テスト利用選抜(前期／後期)

6. 受験票

出願書類を受領した数日後、登録したメールアドレスへ受験票発行の通知メールが届き、「マイページ」から受験票が確認できるようになります。本学での個別試験はありませんので印刷する必要はありませんが、記載内容を確認し、誤りがある場合はご連絡ください。

※合格発表日の5日前になっても「マイページ」から受験票をダウンロードできない場合はお問い合わせください。

【連絡・問い合わせ先】学務部入試・広報課 022-234-4181(代)

7. 選抜方法

大学入学共通テスト利用選抜は、大学入学共通テストの成績を利用して合否を判定します。本学での個別試験はありません。

1) 試験科目および配点等：

令和8年度大学入学共通テストで本学が指定した下記の教科・科目を受験する必要があります。

教科	科目・配点	計	備考
理 科	『物理』、『化学』、『生物』 から2科目選択。 各 100 点	200点	2科目受験のため第1解答科目、第2解答科目の指定はありません。 ただし、『化学』または『生物』のいずれか1科目の他に、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」の出題範囲から2つを選択するでも可とします。
数 学	『数学Ⅰ, 数学A』、 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 各 100 点	200点	
外国語	『英語』 (リーディング・リスニング) 各 100 点	200点	大学入試センターからリスニングの免除を許可されている場合は、リーディング試験の得点を2倍にし200点満点に換算します。 なお、その場合には大学入試センターから発行される「 <u>受験上の配慮事項審査結果通知書</u> 」の写しを出願書類に同封してください。

2) 合格者の決定：大学入学共通テストの結果により選考し、合格者を決定します。

※調査書またはそれに代わる資料（卒業証明書等）は得点化して評価します。

※本学が指定した教科・科目の条件を満たすよう受験しない場合は合否判定を行いません。

大学入学共通テスト利用選抜(前期／後期)

8. 合格発表

大学入学共通テスト利用選抜(前期)：令和8年2月13日(金)午後4時予定

// (後期)：令和8年3月11日(水)午後4時予定

1) 合否結果は、インターネット出願サイトの「マイページ」から確認してください。

※学内掲示による合格発表は行いません。

また、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

2) 合格時にお知らせする案内に従って、合格通知書および入学手続要項、入学手続に必要な書類等を入手してください。

9. 入学手続

1) 納付金

入学金、施設設備費、保険料を銀行振込により納付してください。

納付期限

大学入学共通テスト利用選抜(前期)：令和8年2月26日(木)午後2時まで

// (後期)：令和8年3月23日(月)午後2時まで

2) 入学手続書類

提出期限

大学入学共通テスト利用選抜(前期)：令和8年3月6日(金)必着

// (後期)：令和8年3月23日(月)必着

※入学手続書類については、入学手続要項に従い提出してください。

3) 期日までに納付金の納付および入学手続書類の提出をすべて完了しない場合は、入学の意志がないものとして入学を許可いたしません。

10. 入学辞退について

入学手続時に提出された書類および入学金は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、施設設備費および保険料に限り下記提出期限までに、本学所定の様式により入学辞退の申し出を行った場合返還します。

「入学辞退届」の提出は簡易書留・速達郵便にて令和8年3月31日(火)午前中必着でお願いいたします。やむを得ず大学窓口に提出する場合は、令和8年3月31日(火)午前9時から午前11時30分までの間のみ受付いたします。

※詳細については、入学手続要項をご覧ください。

●出願資格

下記のいずれかに該当する者、または令和8年3月31日までに該当する見込みの者

- 1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 3) 文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定合格者を含む）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査（下記参照）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

※在留資格を有していない者については、令和8年3月31日までに在留カードを取得していることが必要となります。

なお、入学時に在留カードを取得していない場合は、本学での修学が不可能となります。

【個別の入学資格審査】

学校教育法施行規則の規定により、本学の入学資格の認定を受ける者に対し、個別の入学資格審査を実施します。上記1) 2) 3) ①～⑤に該当しない場合は、事前に資格認定の審査を行うので、東北医科薬科大学 学務部入試・広報課に申し出て指示を受けてください。申請書類については、本学ホームページ（下記URL）よりダウンロードできます。

なお、申請期間および申請書類の提出・問い合わせ先については、下記のとおりです。

- 申請期間● 第1回目：令和7年8月25日(月)～8月29日(金)必着
第2回目：令和7年10月31日(金)～11月10日(月)必着

〈申請書のダウンロード〉 本学ホームページ トップページ>入試情報>入学資格審査
<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/screening/>

〈提出・問い合わせ先〉

〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1

東北医科薬科大学 学務部入試・広報課 宛

TEL 022-234-4181(代)

受付時間 平日午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

●注意事項

1. 出願上の注意

- 1) 同じ試験区分において、薬学科と生命薬科学科の両方を同日に受験することはできません。どちらか一方のみの受験となります。※大学入学共通テスト利用選抜は受験可能です。
- 2) 出願後に学科や受験地の変更は認めません。
- 3) 出願書類に不備があった場合には受理しません。
- 4) **出願時の入学検定料と書類は、いかなる理由があっても返還しません。**
- 5) 志願票や調査書等は、出願する試験区分ごとにそれぞれ提出が必要になります。
- 6) 疾病または身体の障害等により、受験上の配慮を希望する場合には、出願する前に本学所定の申請書類を提出してください。詳細は本学ホームページ(トップページ > 入試情報 > 受験上の配慮)を参照ください。
https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/special_consideration/

<申請書類提出期限>

- 学校推薦型選抜(公募制)：令和7年10月8日(水)
- 一般選抜(前期)：令和7年11月28日(金)
- 一般選抜(後期)：令和7年12月24日(水)

なお、必ずしも要望に沿うことができるとは限りませんので、あらかじめご了承ください。
※特別な配慮を必要とする場合、配慮の程度によりますが、一般選抜(前期/後期)は試験場を仙台(東北医科薬科大学小松島キャンパス)に指定することがあります。
また、修学上(実習含む)特別な配慮が必要と思われる場合には、出願する前に学務部入試・広報課にご連絡ください。

2. 受験上の注意

- 1) 受験票は試験当日必ず持参し、試験中、机の上に置いてください。
- 2) 試験前日までに、受験票に明示されている試験場、道順、所要時間などを確認しておいてください(キャンパス内への立ち入りは禁止します)。
- 3) 試験当日は、下記時間までに集合、着席してください。
 - ・学校推薦型選抜：午前9時10分までに集合(試験場は8時30分に開場)
 - ・一般選抜：午前9時00分までに集合(試験場は8時20分に開場)試験場内へは土足のまま入場できますので、上履きは不要です。
- 4) 試験開始後10分まで遅刻入室を認めず。試験開始後は、終了まで退出を認めません。
- 5) 机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、シャープペンシルの芯(ケースから取り出したもの)、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)です。
なお、時計については、辞書・電卓・端末等の機能があるもの、それらの機能が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは使用できません。
- 6) 解答には、H、F、HBの黒鉛筆、またはシャープペンシル(黒い芯に限る)、プラスチック製の消しゴムを使用してください。解答が薄い場合や、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない場合は、解答が正しく読み取れず採点できないことがあります。
- 7) 昼食は各自持参し、休憩時間内に自席で適宜とるようにしてください。
- 8) 全試験会場、保護者等付添いの方の控室は設置しておりません。
- 9) 生活騒音(自動車・飛行機・空調機の音、試験監督者の巡回による足音、他の受験者の咳、くしゃみなど)が発生した場合でも、原則として対応措置は行いません。
- 10) 学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等)に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- 11) 欠席した場合や試験中の体調不良等により途中退席した場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。
- 12) 試験場内でのマスクの着用については、原則個人の判断とします。咳等の症状がある場合には、マスクの着用をお願いします。また、状況によっては着用を指示する場合がありますので、マスクの持参をお願いします。
- 13) 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は脱いでもらうことがあります。

●学校推薦型選抜について

- ・学力検査と面接試験のうち1つでも欠席した場合は、放棄したものとみなし合否判定を行いません。
- ・面接終了時刻は、最終で午後3時ごろを予定しています。面接が終了した受験者から適宜解散となります。

●一般選抜について

- ・学力検査のうち1つでも欠席した場合は、放棄したものとみなし合否判定を行いません。

●地域支援制度希望者の面接について

- ・面接終了時刻は、最終で午後6時頃を予定しています。面接を終了した受験者から適宜解散となります。

3. 不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為をした場合は、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。

- 1) 志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の写真データを登録することや、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入することなど）をすること。
- 2) カンニング（カンニングペーパー、教科書、参考書、辞書、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- 3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- 4) 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- 5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- 6) 試験開始の指示前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。
- 7) 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類、下敷き、コンパス、定規、計算機、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能が判別しづらいもの）を使用すること。
- 8) 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムなどを持っていたり、解答を続けること。

上記以外にも、次のことをすると不正行為になることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- ア. 試験時間中に、下敷き、コンパス、定規、計算機、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能が判別しづらいもの）や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル型端末、イヤホン等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書類をかばん等にしまわず、身につけていたり、手に持っていること。
なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。
- イ. 試験時間中に、携帯電話等の電子機器類の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ. 試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- エ. 試験場において、監督者等の指示に従わないこと。
- オ. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- カ. 面接試験において試験前に、既に試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
- キ. 面接試験において試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。
- ク. 面接試験において試験前に、面接試験控室等で携帯電話等の電子機器類を操作すること。
- ケ. 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

●令和8年度入学生納付金・諸会費等

納付金のうち、授業料、施設設備費は毎学年次1期（5月31日まで）および、2期（11月30日まで）に分納とします。ただし、1年次の施設設備費は入学金とともに入学手続き時に納付するものとします。

1. 学 費

薬 学 科	1年次（初年度）			2年次以降	
	入学手続き時	1期	2期	1期	2期
入学金	400,000円	—	—	—	—
授業料	—	700,000円	700,000円	700,000円	700,000円
施設設備費	600,000円	—	—	300,000円	300,000円
納期別計	1,000,000円	700,000円	700,000円	1,000,000円	1,000,000円
年度別納付額	2,400,000円			2,000,000円	
6年間総計	12,400,000円				

生命薬科学科	1年次（初年度）			2年次以降	
	入学手続き時	1期	2期	1期	2期
入学金	400,000円	—	—	—	—
授業料	—	600,000円	600,000円	600,000円	600,000円
施設設備費	430,000円	—	—	215,000円	215,000円
納期別計	830,000円	600,000円	600,000円	815,000円	815,000円
年度別納付額	2,030,000円			1,630,000円	
4年間総計	6,920,000円				

2. 保険料・諸会費等（前年度実績額）

保険料		入学手続き時
薬学科	6,840円	学生教育研究災害傷害保険料4,800円、学生教育研究賠償責任保険料2,040円
生命薬科学科	4,730円	学生教育研究災害傷害保険料3,370円、学生教育研究賠償責任保険料1,360円
二松会（保護者会）費	6,000円	年会費
学生会入会金	3,000円	1年次
学生会費	4,000円	年会費
同窓会終身会費	32,000円	年額8,000円×4回（1～4年次）
同窓会入会金	10,000円	最終学年次
共用試験受験料	24,000円	薬学科のみ4年次
CBT体験受験料	2,000円	薬学科のみ4年次

令和8年度入学生納付金・諸会費等

●保険料

本学では「学生教育研究災害傷害保険」および「学生教育研究賠償責任保険」共に全員加入することを原則としており、入学手続き時に保険料を納入していただきます。

【学生教育研究災害傷害保険】

学生が正課、学校行事、通学途中、課外活動中に事故が起きた場合、傷害の程度に応じて保険金が支払われます。

【学生教育研究賠償責任保険】

学生が日本国内外において正課、学校行事およびその往復等で、他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊し法律上賠償しなければならない場合に保険金が支払われます。

●二松会（保護者会）

在学生の全保護者等によって組織され、大学および社会との緊密な連繫を保ち、学生の教育に協力し、学生生活に適した事業を行うことにより教育の進展に寄与し、その効果を上げることを目的としている組織です。

●学生会

在学生によって組織され、課外活動団体や各種イベントの企画・運営など、学生生活の充実を図ることを目的としている組織です。

●同窓会

東北薬学専門学校、東北薬科大学および東北医科薬科大学の卒業生によって組織され、会員相互の親睦を厚くし、東北医科薬科大学の発展に資することを目的としている組織です。在学時は準会員となります。

3. 入学時に必要となる教科書代（選択によって若干の変動があります）

【必修科目】薬学科：約48,000円 生命薬科学科：約32,000円 【選択科目】約10,000円

4. 教育研究協力資金の募集

入学後に、教育研究の質的向上と維持及び施設設備等教育研究環境の充実のため「教育研究協力資金」を募集します。

この募集は任意のご協賛をお願いするもので入学の条件とするものではありません。

教育研究協力資金 …………… 一口1万円〈何口でも可〉

●各種奨学金など

日本学生支援機構奨学金、各地方公共団体奨学金、民間育英団体奨学金などがあります。
詳しくは、東北医科薬科大学 学務部学生課へお問い合わせください。

各種奨学金についての詳細は、本学ホームページ
(下記URLまたは右記QRコード) をご確認ください。
https://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/ad_scholarship/
【問い合わせ先】
東北医科薬科大学 学務部学生課 TEL022-234-4181(代)
受付時間 平日午前9時～午後5時(土・日・祝日を除く)



●高等教育の修学支援新制度

本学は、大学等における修学の支援に関する法律に基づいて一定の要件を満たすことの確認を受け、「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっています。詳細は文部科学省ウェブサイトでご確認ください。

〈文部科学省ウェブサイト「高等教育の修学支援新制度」〉
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

なお、入学金を含む入学手続納付金は所定の期日までに全額を納入していただく必要があります。

◆地域支援制度◆

宮城県内および秋田県内における人口10万人あたりの薬剤師数は、全国平均を下回っております。特に医療機関に勤務する病院薬剤師は顕著に不足しています。

本学の教育理念として「専門的な知識と能力を兼ね備えた、社会に貢献できる人材を育成する」ことを掲げていることから、自治体や関係団体等と密接に連携しながら、東北地方の地域医療において薬剤師が専門性を発揮する環境を整備し、薬剤師不足が深刻な医療機関に薬剤師が定着する仕組みの構築を目指していくこととしています。

地域支援制度は、地域医療を支える薬剤師の養成を目的として、対象の学生に修学資金を貸与し、卒業後に指定された宮城県内または秋田県内の医療機関に薬剤師として一定期間従事することで、貸与金額の全額を返還免除とする制度です。一般選抜(前期)の薬学科受験者の中で本制度を希望する者には、面接を実施し採用者を決定します。

1. 対象学科 薬学部薬学科
2. 募集人員 宮城県4名、秋田県2名(両県を希望する場合は、希望順位をつけてください。)
3. 出願資格 次の1)～2)の条件をすべて満たす者
 - 1) 一般選抜(前期)を受験する者(本制度を希望する者の試験場は仙台試験場)
 - 2) 卒業後、指定された宮城県内または秋田県内の医療機関で薬剤師業務に従事することを確約できる者(所定の様式で誓約書を提出)
4. 採用者決定について
期 日：令和8年1月24日(土)一般選抜(前期)の試験終了後に面接を行います。
面 接 会 場：東北医科薬科大学 小松島キャンパス
採用者決定方法：一般選抜(前期)合格者の中から、調査書、面接などにより総合的に採用者を決定します。
発 表 日：令和8年1月30日(金)
欠員が生じた場合には、希望者のうち納付金納入者の中から繰上げ採用者として連絡いたします。その際には、学務部入試・広報課(022-727からはじまる電話番号)から電話連絡いたします。
※一般選抜(前期)の合格者の判定に地域支援制度の希望の有無は影響しません。
5. 貸与期間 6年間
6. 貸与金額 6年計720万円

※返還免除条件(必要従事期間など)や指定の医療機関等、県によって異なる事項がありますので、本学ホームページ(下記URLまたは右記QRコード)等でご確認ください。

<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/university/info-university/96460/>



●インターネット出願の流れ

出願期間内に以下のすべてを行うことにより出願が完了します。

- 「マイページ」での出願登録
- 入学検定料の納入（支払い期限まで）
- 出願書類の郵送（書類提出期限まで）

事前にスケジュールを確認し、余裕を持って出願してください。

★本学指定インターネット出願サイトURL：<https://guidance-tmpu.campus-gate.com/index.html>

※出願サイトの公開は9月中旬予定

★用意するもの

- パソコン等
- プリンター
- 顔写真データ
- 出願書類等
- 角2封筒

1. 試験日程や試験内容を確認する

※試験区分によって異なりますので必ず学生募集要項等を確認してください

2. 出願前に調査書等を準備する

- ※顔写真データ（JPEG形式・3MB未満）もあらかじめご準備ください
- ※インターネット出願サイト内に顔写真データの条件が記載されていますのでご確認ください
- ※学校推薦型選抜（公募制）の推薦書（wordファイル）は本学ホームページからダウンロードしてください
- ※一般選抜（前期）の薬学科地域支援制度の誓約書（pdfファイル）は本学ホームページからダウンロードしてください

3. 「マイページ」を作成する

※9月中旬から作成可能

- ※本学が指定するインターネット出願サイトに、メールアドレスを登録し「マイページ」を作成してください
- ※1つのアカウント（メールアドレス）で複数人の利用はできません
- 1人につき必ず1つのアカウント（メールアドレス）で登録してください

4. 出願登録をする

※「マイページ」から出願登録の入力が完了すると、志願票等（PDFファイル）をダウンロードすることができます

5. 志願票等をダウンロードし、印刷する

※志願票と一緒に、入学検定料の支払い方法が明記された「納入手順書」や、出願封筒に貼る「宛名ラベル」も印刷されます

6. 入学検定料を納入する

- ※「納入手順書」をコンビニエンスストアに持参し、お支払いください
- ※支払い時に手渡される「収納証明書」を必ず受け取り志願票に貼ってください

7. 出願書類を郵送する

- ※印刷した「宛名ラベル」を市販の角2封筒に貼ってください（試験区分によって送付先住所が異なります）
- ※出願書類を全て封筒に入れて、郵便局の窓口から簡易書留・速達郵便で郵送してください

8. 受験票を印刷する

- ※出願書類が到着して数日後、登録したメールアドレスへ受験票発行の通知メールが届きます
- ※受験票は大学から郵送されませんので、各自で印刷して試験期日にご持参ください

9. 入学試験を受験する

- ※試験区分によって選抜方法が異なります
- ※大学共通テスト利用選抜は、本学での個別試験はありません

10. 合格発表

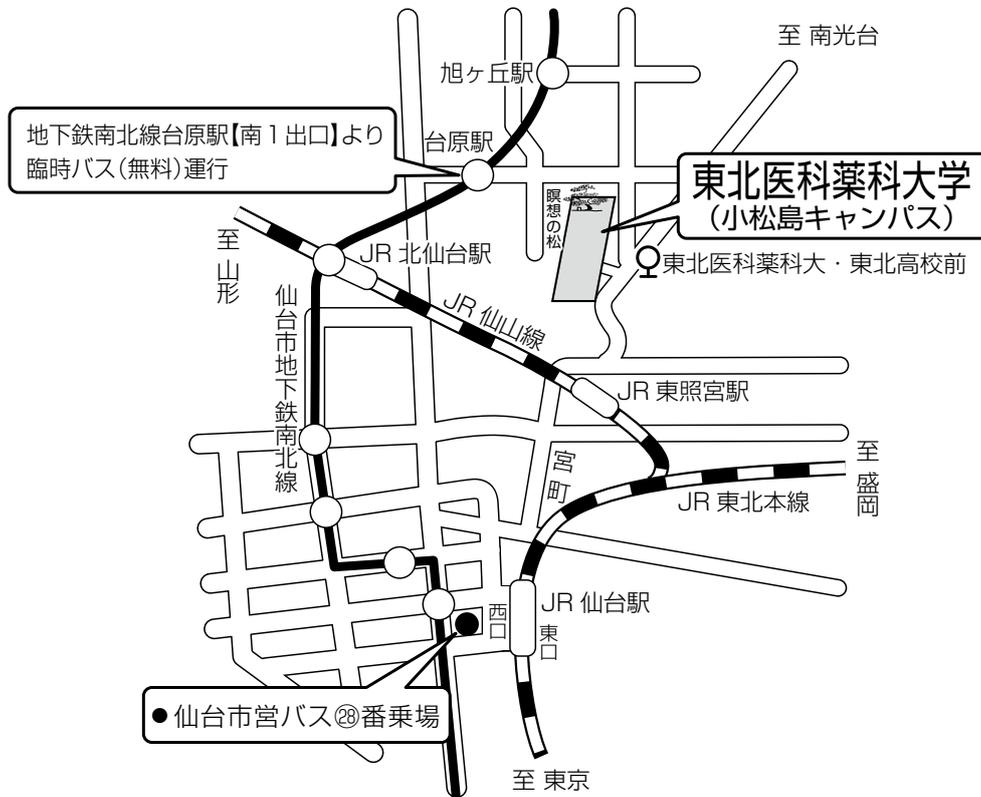
※合格結果はインターネット出願サイトの「マイページ」から確認してください

※さらに詳しい内容については、インターネット出願サイト内にある「出願手順」をご確認ください。

●試験場

※受験者以外は試験場に入れません。保護者等付添者の控室は設置してありません。

●仙台試験場（学校推薦型選抜・一般選抜）



※駐車場はございません。

※近隣住民のご迷惑となりますので、車での送迎はお控えください。

※入学試験当日（推薦・一般前期・一般後期）は地下鉄南北線台原駅と東北医科薬科大学（小松島キャンパス）間で臨時バス（無料）を運行いたしますのでご利用ください。

運行時間（随時運行）

○学校推薦型選抜

〈台原駅→大学〉 8:20～9:10
 〈大学→台原駅〉 13:10～面接終了まで

○一般選抜（前期）

〈台原駅→大学〉 8:10～9:00
 〈大学→台原駅〉 15:20～地域支援制度受験者の面接終了まで

○一般選抜（後期）

〈台原駅→大学〉 8:10～9:00
 〈大学→台原駅〉 12:40～13:00

【仙台市地下鉄南北線を利用の場合】

○地下鉄南北線仙台駅より泉中央行に乗車し、台原駅下車／台原駅より徒歩15分

【JR仙山線を利用の場合】

○JR仙台駅より山形方面行に乗車し、東照宮駅下車／東照宮駅より徒歩15分

【仙台市営バスを利用の場合】

JR仙台駅前（西口）⑧番乗り場より
 ○宮町・南光台入口経由 旭ヶ丘駅
 ○宮町・小松島三丁目経由 台原駅
 ○宮町・台原駅経由 瞑想の松循環 東北医科薬科大・東北高校前下車／徒歩すぐ

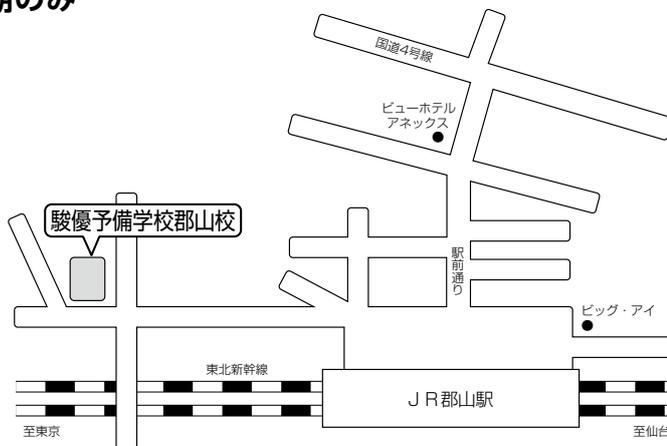
東北医科薬科大学（小松島キャンパス）

宮城県仙台市青葉区小松島4-4-1 TEL 022-234-4181(代)

試験場

● 郡山試験場（一般選抜）※前期のみ

○ J R 郡山駅より徒歩7分



駿優予備学校郡山校
福島県郡山市駅前1-12-6

● 山形試験場（一般選抜）※前期のみ

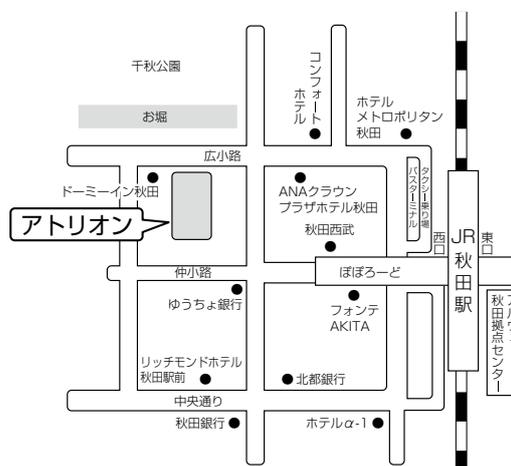
○ J R 山形駅東口から徒歩12分



大手門パルズ
山形県山形市木の実町12-37

● 秋田試験場（一般選抜）※前期のみ

○ J R 秋田駅より徒歩7分



アトリオン
秋田県秋田市中通2-3-8



東北医科薬科大学

〒981-8558 宮城県仙台市青葉区小松島四丁目4番1号
TEL 022-234-4181(代)
FAX 022-234-1785
<https://www.tohoku-mpu.ac.jp/>